

学校名	江戸川区立小岩第四中学校	対象学年と人数	第一学年 111名
活動名	落花生の栽培学習		
指導者	学内指導者：第一学年担当教諭・栄養士 学外支援者： (役割分担)		
環境学習 データベース (当てはまるものに)	1.情報の収集 2.データベース登録者に相談 3.データベース登録から者技術指導 4.授業当日の出張指導 5.学習資料・資材の提供 6.その他(教諭による授業)		

目標

落花生の栽培を通して

- ・落花生の生育とその特徴を学ぶ。
- ・落花生の栄養成分を学び、食育につなげる。
- ・緑化活動と地球温暖化対策について考える。

成果

- ・落花生の生育を観察することによって、理科的な知識・理解を深めることができた。
- ・落花生の栄養成分を調べることから、自らの食生活や、それに伴う健康を意識するようになった。
- ・緑化活動を通して、地球温暖化を考える機会となった。

感想・課題等

- ・自ら育て、食することにより、生徒一人一人が食物を育てることの大変さを学んだように思う。
- ・本校では、食育の推進を学校教育の一つの目標におき指導してきた。この取り組みを通して、自らの食を考える機会となった。
- ・生徒数に比べて、学校園の面積が狭い。校舎裏などの空きスペースを学校園にできないか検討したい。



もったいない運動えどがわ エコチャレンジの取り組み

- ・本校では、もったいない運動の一環として、節電・節水に努めている。プリントについても、裏面の再利用を推進している。
- ・生徒会では、エコキャップ運動に取り組んでいる。



5月28日落花生の種を、学年の生徒全員で蒔いた。蒔いた種のうち、発芽したのは3分の1程度であったが、生育していくと、学校園をうめるぐらいに緑の葉が生い茂った。

夏、学年委員の生徒がしばしば雑草をぬいたが、一週間もしないうちに雑草が生えてくる。育てることの大変さを肌で感じた。今年の夏は猛暑であったが、落花生は暑さや乾きに強い植物なので、予定通りに生育を続けた。

開花時には、理科の授業の教材として活用した。多くの生徒は芋のように根に実が出来ると思っていたが、花から蔓が伸び、地中に入って実をつけることには、どの生徒も驚いたようだ。



11月12日、落花生の収穫をする時が来た。1株には30個以上の実が付いており、生徒は歓声をあげながら収穫していた。収穫した落花生は、生徒の手ですぐに洗い、塩ゆでした。やわらかく甘い実に、何個も食べている生徒もいた。



茹で上がるまでの時間を利用して、落花生の生育について、もう一度学んだ。さらに、11月15日には、落花生にはどんな栄養があるかを調べ、自らの食生活や、それに伴う健康を意識するようになった。引き続き、1月にはプランターに花を植える。地域におくことにより、地域のボランティア活動として、緑化、美化活動を推進したい。